

特定非営利活動法人（名古屋市東区）

レスキューストックヤードの東日本大震災支援

<http://rsy-nagoya.com>

2011. 9. 11 現在

■これまでの動き

- 3/11 三陸沖を震源にM9の大地震、大津波発生
- 3/13～20 先遣隊としてスタッフ1人が被災地入り
- 3/15 「あいち・なごや東北関東大震災ボランティア支援連絡会」発足
- 3/17 名古屋・栄で街頭募金開始（その後も継続し、計26回で約229万円の募金）
- 3/20 全社協要請で名東倉庫から宮城向け資機材搬出
- 3/24～30 七ヶ浜支援活動第1陣としてスタッフとボランティア計7人が現地入り



地元ボランティア向けの炊き出し（上）

避難所で「足湯」ボランティア（右）



- 3/25 震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）主体の「日本財団ROADプロジェクト」スタート
- 3/28～4/2 第2陣計6人（現地で1人合流）が七ヶ浜で支援活動
- 3/30 栗田が代表世話人の一人を務める「東日本大震災全国支援全国ネットワーク」正式発足（東京）
- 4/3～7 ROADプロジェクト足湯隊が七ヶ浜で活動
- 4/7～4/11 第3陣（運転手、マスコミ関係者含め17人）がマイクロバスで名古屋出発、七ヶ浜で足湯や戸別訪問活動
- 4/10 うるうるパック約1,300個（東京仕分け分）を七ヶ浜町全小学校児童あてに配布
- 4/14 「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」が名古屋市社協内に開設
- 4/23 七ヶ浜に滞在拠点「ボランティアきずな館」オープン
- 4/29～ 第4陣以降、ボランティアバスを定期的に運行（第32陣まで延べ約500人参加）、七ヶ浜での足湯、片付けのほか「きずな館」でカフェやキッズスペース運営、「たべさいんプロジェクト」「表札プロジェクト」など進行中
- 5/6～5/10 名古屋で「うるうるパック」4000セットを袋詰め、七ヶ浜の全小中学校などに配布

- 5/14 RSYで第1回ミニ上映会を開催（15人参加。足湯講習会DVD、NHKナビゲーション(RSY七ヶ浜での活動紹介)DVDの2本を上映）
- 5/15 七ヶ浜で表札プロジェクト「まごころ表札づくり」スタート(第1回)（当日は七ヶ浜中学校の学生さん14名、向洋中学校の学生さん1名、町内からの参加者3名、町外のボランティア22名の総勢40名が参加。約70枚の表札を作成）



まごころ表札づくり(左)
「たべさいん」プロジェクト(下)



- 5/16 七ヶ浜国際村で「たべさいん」プロジェクト開催（きゅうりとだいこんのお漬物を配る。安城市『榎前町ふれあい「えのき」』さんの提供、地元のボランティア団体のお母さん方が調理を行う）
- 5/21 RSYで第2回ミニ上映会を開催(約25人参加。上映DVDは第1回と同じ)
- 5/28 七ヶ浜にてまごころ表札を取り付け（町内外から10人のボランティアが参加。115世帯分の表札を仮設住宅に届ける）
- RSYで第3回ミニ上映会を開催(約10人参加。上映DVDは前回と同じ)
- 6/4 RSYで「集まれRSYボランティア！～みんなで一緒に考えよう！これからの支援～」開催（40人が参加。前半はRSYの団体紹介、七ヶ浜での活動紹介、メッセージ募金、後方支援活動についての紹介。後半は5つのテーマにわかれてグループワーク）



集まれRSYボランティア



第2回まごころ表札づくり

- 6/8 七ヶ浜で第2回まごころ表札づくり開催

(やさしい美術プロジェクト・未来予想図実行委員会・関西学院大学・七ヶ浜中学校・向洋中学校の協力のもと、60世帯分の表札を作成)

- 6/9 七ヶ浜で第3回まごころ表札づくり1日目
(中学校に場所を移して活動。地元中学校の1年生約100人が授業の一環として表札づくりに取り組む。1日目は表札のデザイン)
- 6/11 まごころ支援「輪っか和っかプロジェクト」in名古屋 スタート
RSYで第4回ミニ上映会を開催(7人が参加。内容をアレンジし、意見交換会も行う)

チャリティー発表会(右)
第4回ミニ上映会(下)



- 6/13, 14 東京にて株式会社ラッシュジャパンのチャリティー発表会に出展
(足湯ボランティアの体験コーナーを設置。七ヶ浜での活動紹介の写真パネルやつぶやきのパネルも展示。二日間で150人弱が来場)
- 6/9 七ヶ浜で第3回まごころ表札づくり2日目
(2日目は実際に表札を作成)

第3回まごころ表札づくり2日目(左)
輪っか和っかプロジェクト準備会(下)



- 6/18 RSYで輪っか和っかプロジェクトの準備(9人参加。貸出を行う「紹介グッズ」を作成)
- 6/30 七ヶ浜にて「きずな喫茶オープンカフェ」を開設
七ヶ浜でお祭り用の旗の洗浄を実施(津波で泥砂まみれになった大漁旗や鯉のぼりの洗浄)

お祭り用旗の洗浄(右)
きずな喫茶オープンカフェ(下)



- 7/1, 2 RSYでボランティア説明会を開催
(ボランティアバス参加者、これから参加を考えている方など約20人が参加。災害ボランティアの活動や心構えなどを説明、意見交換を実施)
- 7/4 RSYで輪っか和っかプロジェクト「第1回みんなの輪っかをつなぐ会」を開催
(集まった輪っかの数: 2464個, 距離に換算: 123m。7/5のボランティアバスで七ヶ浜へ届ける)



第1回みんなの輪っかをつなぐ会

足湯ってこんなカンジ! 講習会

- 7/8, 9 「足湯ってこんなカンジ! 講習会」開催
(被災地NGO協働センタースタッフの吉椿雅道さんをまねいて足湯の手ほどきをしていただく)
七ヶ浜で地元の被災者との交流会を実施(地元被災者3人にきずな館へ来ていただきお話を)
- 7/10 七ヶ浜にて菖蒲田浜の浜そうじを実施
(サーフショップを運営されていたDさん、大谷学院の学生と作業を行う)
七ヶ浜にて被災者との交流会を開催
(8日の交流会に参加の3人のほか、きずな館近くの仮設住宅に住んでいる女性、地元ボランティアも参加。交流会の他、七ヶ浜の地形を自分たちで描いた手作りマップをもとに発表も行う)

7/13～15 ※ボランティアバス 26 陣

七ヶ浜にて炊き出し、菖蒲田浜の清掃、足湯、きずな喫茶、仮設住宅へのイベントチラシ配り、仮設住宅の表札の取り付けを実施

7/16 RSY で「集まれ！RSY ボランティア vol.2」を開催

(初めての方、チームBの方を合わせ9名が参加。RSYの団体紹介と七ヶ浜の最新情報の伝達を行い、後半は2グループに分かれてのグループワーク)

7/21, 23 RSYにてボランティアの事前説明会を開催

(ボランティアバスへの初めて参加者を対象とした事前説明会。各回約20名が参加。グループごとの自己紹介、RSYの活動方針や七ヶ浜での活動の説明、テーマに沿った話し合いを実施。)

7/23 七ヶ浜国際村にて他のNPOグループ主催の地元祭り「Wa-syoi」の準備、片づけに参加

(あるNPOが主催し、多様なNPOグループや個人が参加。RSYは輪投げコーナーを担当をするほか、会場の設営や清掃、場内アナウンス、フリーマーケットなどの助っ人行う)



バーベキュー大会



泥だし作業

8/24～30 ※ボランティアバス 31 陣

七ヶ浜にて泥だし作業を実施、名古屋学院大学主催の名古屋カフェに参加

(「名古屋カフェ」とは、流失・大規模半壊でアパートなどを借り上げている在宅被災者の方を対象とした名古屋学院大生による企画イベント)

9/1 七ヶ浜の中学校・集会所に60回目の足湯を実施する(9名が利用)

9/10 「菖蒲田浜・復興まつり」開催

菖蒲田浜の清掃し、14:46に全員で黙とうし、全国から集められた応援の砂をまき、町花の「ハマギク」を植えた。ブースや出店で盛り上がり、フィナーレに約700発の花火が打ち上げられた。



地元祭り「Wa-syoi」



菖蒲田浜の整備(8/4)

8/3～9 ※ボランティアバス 29 陣

七ヶ浜にて足湯、きずな喫茶、菖蒲田浜の整備を実施

(菖蒲田浜の整備はボランティアセンターの活動)

〃 小学校で子供のお祭りに参加、及び地元の方との交流会を開催

〃 一歩スマイルプロジェクト、マイスポット発表会の実施

(一歩スマイルプロジェクトでは子ども達とキャンドル、うちわを作成。マイスポット発表会には4人の地元住民が参加)

8/16 RSYで輪っか和っかプロジェクト「第2回みんなの輪っかをつなぐ会」を開催

(集まった輪っかの数:2010個、距離に換算:100m。5人のボランティアが参加。9月10日に七ヶ浜で行われる「復興祭り」で住民に届ける)

8/27 七ヶ浜にてバーベキュー大会を実施

(地元住民約90人、ボランティアを合わせ154人が参加。協力:あいち生活協同組合、JAあいち中央青年部会、一宮市社会福祉協議会、野外活動センター仮設住民有志、だくでめ)



浜に集まったボランティア



ハマギク



打ち上げ花火



交流会の様子